

第18回吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成25年2月1日(金)午後3時から4時40分まで
- 2 場 所 吹田市役所中層棟4階 第3委員会室
- 3 出席者 別紙(出欠一覧)参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 基本計画の見方
(2) 資料-2 他の施策との連携確認表
(3) 資料-3 総合計画(基本計画)における指標の考え方について
(4) 参考資料-1 基本計画(素案)に記載(検討中)指標・目標値の一覧
(5) 参考資料-2 基本計画(素案)のたたき台

5 議事内容

(1) 総合計画基本計画(素案)の策定スケジュールについて

2月8日の総合計画策定委員会及び2月15日の市長協議を経て、2月19日の吹田市総合計画審議会(第3回)にて諮問する予定を確認した。

(2) 総合計画基本計画(素案)について

ア 基本計画(素案)のたたき台について

資料-1、参考資料-2を用いて説明を行った。

補足として、市民との役割分担については、ワークショップ等においても、市民との役割分担の話は十分できたわけではない状態。部会の作業の結果でてきた取組をもとに、市民に柔らかくよびかける表現となるように事務局として表現を工夫した。部会の作業の結果すべてがここに入っているわけではないので、作業部会との再調整が必要と考えている。2月8日には固める予定。

【質疑応答事項】概要

意見1：参考資料-2の36ページの「取組みの目標」の平成23年度の数値は、48,028人ではなく、2,523人の誤りである。

意見2：参考資料-2の1ページの図で、「基本方針」はルート～のことを意味するはずだが、全体にかかっているように見える。位置の修正を行うこと。

意見3：参考資料-2の43ページの吹き出しの中は、体言止めといっても色々なものが混在しているようだ。

回答3-1：細かい点については、これから作業部会と詰める。資料-1では吹き出しの中まで「しよう」になっているが、押し付けがましさを減らすために、吹き出しの中は「項目」にするという事務局からの提案である。「環境学習」と書いてあれば、環境学習に取り組みませんか、という意味である。

回答3-2：体言で止めているのは、そのあとに「～に取り組みませんか」とつけたら意味がつながるようにしてあるということ。

質問4：他市では、関連する分野別計画は、名前だけ書く例が多いのではないか。

回答4：少ないが、所管まで書くところもある。詳しい説明については巻末に載せている例もある。

質問5：77ページなど、関連する分野別計画がないところはどうするのか。

回答 5 : 該当がないところは、横線を入れる予定をしている。

補足 6 : 参考資料-2 の 19 ページの「 5 関連する分野別計画等」の部分で、「第 期」をカッコ書きで載せている。カッコを付けないこともできるし、第 期は載せず「月 日時点」で載せることもできる。

9 ページのすいた男女共同参画プランに関して、現在は「第 2 次」だが、4 月から第 3 次としてスタートの計画なので計画改訂のタイミング等が難しいので、抜く方が良いかと思うが、どう思われるか。

意見 6 : 見直し中の計画は、議決をもらう時に最終固まるので、その旨記載が必要ではないか。

回答 6 : 本編はできるだけシンプルに、巻末に詳しい情報を掲載するという方法を考えている。

質問 7 : 見る人は直近の計画を参照するので、関連する計画を示しておけばいいということか。9 ページと 19 ページでは、計画の正式なタイトルに第 期とあるのか、どうなのか。

回答 7 : 今日のところは、厳密に使い分けているわけではない。

質問 8 : 「吹田市」とついているのも取ってしまうということか。

回答 8 : 「吹田市」は残す。正式名称に吹田市がついているのは、そのままにする。「第 次」だけ省略するということである。

質問 9 : 大阪府の計画が出てくることはあるのか。

回答 9 : すべて、吹田市の分野別計画を記載する。

質問 10 : 「 計画改訂版」の「改訂版」は残るのか。

回答 10 : 外す。

質問 11 : 事務局として統一するというのは分かるが、固有名詞として残すべきものもある。すべて絶対統一するというわけではないということでもいいか。

回答 11 : 柔軟に対応したい。

意見 12 : 似て非なるものにならないかどうか不安に思う。

回答 12 : 12 月議会へ提案する時点でというような基準を設ければと思う。所管とのすり合わせを経て決定していく。

意見 13 : 詳細は分野別計画を参照ということにして、参照先を示すものと位置付けることもできる。正式名称ということにこだわるのかどうか。

回答 13 - 1 : 後ろ（巻末）に正式名称がつくということだった。

回答 13 - 2 : 作業部会の意見も聞きながら詰めていきたい。

補足 14 : 構成について、資料-1 を見てもらいたいが、まちのイメージ、取組みの目標、まちの現状と課題、取組、関連する分野別計画、他の施策との連携という流れになっているが、目標値を最初に挙げると、目立つという効果はあるが、目標値のところの矢印も目立ってしまう。一般的な構成としては、取組の後に目標値が出てくるのも多い。御意見があればいただきたい。

意見 15 : 現状と課題が先の方が分かりやすい。

意見 16 : 私もそう思う。

意見 17：目標を先にする構成は環境部局から提案しているのではないかと。専門家との話し合いから、数値を目立たせてインパクトのある構造にするという考え方。必ずしもこの方法が最善ということではないが。

意見 18：矢印の目標値が今後増えるということと、分野別計画で数値が定められている場合もあるので、一概に最初が良いとはいえないのではないかと。

意見 19：環境部局がこだわっているわけでもない。

質問 20：事務局としての考えは。

回答 20：内容的な関連としては、「目標値」と「分野別計画」、「行政の役割」と「市民・事業者・団体の役割」が一体であると思う。この関連を壊さなければ、目標値を後ろに持ってくるということもできる。

指示 21：目標値のことは、後ろに移すということではいかがか。出席委員のうち、多数の賛成があったので、構成の変更を行うように。

意見 22：参考資料-2 の 76、77 は、ボリュームが少なくさみしい感じがする。また、関連する分野別計画等については、該当がなければ見出しを省略してはどうか。

回答 22 - 1：分野別計画については、見出しを記載するという作業方針とのことだった。

回答 22 - 2：スペースについては、イラストを記載するなど、工夫する予定である。

イ 基本計画（素案）における指標・目標値の取扱いについて

資料-3 及び参考資料-1 を用いて説明を行った。

【質疑応答事項】概要

質問 23：今現在は、目標値は数字より矢印の方が多くということで良いか。

回答 23：現状では、矢印の方が多く。現在策定中の計画については、目標値が決まり次第、記載する。諮問の段階では、その旨分かるように表現する。

質問 24：前回意見が出てきた、項目のレベルなどは調整がついたのか。

回答 24：資料-3 に沿って、所管とやりとりをしている。今後は「指標の考え方」のところの書き方をそろえていきたい。

質問 25：参考資料-2 の 48 ページの定住意向の目標値は、数値にするということか。

回答 25：50 ページにも同じ指標があり、目標値 70%となっているが、その根拠があいまいなので、逆に 48 ページに合わせて矢印にしてはどうかと考えている。

質問 26：参考資料-2 の 16 ページの要介護認定を受ける高齢者の割合は、分野別計画の見直しの際に目標値が改正されることがあるため、資料-3 の 10 ページの方針に従えば矢印になるということか。

回答 26：その指標については、どの計画から取り上げたものなのか確認したい。分野別計画で挙げられているものは変わっていくので、矢印になる。趣旨が伝わるように設定したい。

意見 27：介護保険事業計画からの数値だと思われる。この場合、矢印が上を向くのがいいのか、下を向くのが良いのかが難しい。

回答 27：健康年齢を上げていくという趣旨であるので、それが表現できるように検討していく。

意見 28：参考資料-2 の 66 ページでは、実績値がなく、矢印しかない、何に対して上げていくのかという基準がないため分かりにくい。

回答 28：所管に確認する。指標を設ける目的としては、市民に分かりやすくするためである。指標に矢印と数字が混じっている他市の総合計画もあるので、柔軟にやっていきたい。その他、実績値がないところに対しては、文章等での補足を検討していく。

意見 29：参考資料-2 の 72 ページの空き店舗率の指標について、目標値は言葉で「低下」と書くのか。矢印にしてはどうか。

回答 29：確認し、矢印とするが、もし数値を入れられるなら入れる。

意見 30：開業率と廃業率の目標値は市民には分かりにくいのではないか。

回答 30：事業所の数が減らないよう、開業率が廃業率を上回るようにということ。

意見 31：事業所数を増やす、などとしてはどうか。

回答 31：所管と相談して表現を工夫する。

意見 32：参考資料-2 の 74 ページの勤労者福祉共済の指標について、目標値の 4,600 人は高すぎないか。

回答 32：毎年 10% ずつ向上させるとい根拠を聞いている。

意見 33：例えば環境部局の CO2 の削減率の目標値については、100% をめざすのが当然だという議論をしている。それが高いか低いかは、部局で議論することが重要だと思う。

意見 34：これを書くことで、問題にならないのか、それが心配である。

補足 35：関連して、実績値の推移が分かる方が良いと思い、平成 18 年と 23 年の 2 か年で挙げているが、両方必要か意見をいただければと考えている。

指示 36：作業の方針に沿って、今後精査していく。では、目標値はできるだけ数値で示し、策定中の計画の数値は参照先を示す形にし、現況を数値で表しているものは、目標値についても数字で示すという方針で、進めてもらいたい。

意見 37：できるだけヒアリングを十分にして、レベルを合わせて目標値は数字を出してることが重要と思われる。

回答 37：ヒアリングの中で、見出ししていきたい。

指示 38：指標の考え方の文言を充実していくように。

意見 39：「写真、グラフなど」のイメージを示してほしい。

意見 40：極力写真やグラフを載せていくという方向を示しているということで良いか。

回答 40：基本的にはそう考えている。

意見 41：作業部会から提供を受けるのか、事務局で探し出すのか、今表明しておいてはどうか。

回答 41：使う写真のイメージは現行計画や市勢要覧にあるものである。

(3) その他

市民説明会についてのお知らせがある。諮問後に、平日、休日などに市内 6 か所で説明会を開催する。市報すいたで広報していく予定をしている。その場で市民の意見も受け取って、審議会に返していくことを考えている。次回委員会で詳細に御案内したい。

1 委員

	構成委員	第18回 (2/1)
1	太田副市長	
2	山中副市長	
3	赤野水道事業管理者	×
4	徳田病院事業管理者	
5	西川教育長	
6	赤松危機管理監	(代理) 木戸室長
7	牧内総務部長	
8	門脇行政経営部長	
9	木下市民生活部長	
10	木野内人権文化部長	
11	平野まち産業活性部長	(代理) 稲岡室長
12	春藤子ども部長	
13	安井福祉保健部長	
14	羽間環境部長	
15	森都市整備部長	
16	保田道路公園部長	(代理) 石橋次長
17	井口下水道部長	
18	西山会計管理者	
19	松中消防長	
20	川上水道部長	×
21	坂田市民病院事務局長	×
22	原田教育総務部長	
23	梶谷学校教育部長	
24	上原教育委員会事務局理事	
25	川下地域教育部長	(代理) 赤阪室長

22

2 事務局

1	美馬次長企画政策室長兼務	
2	井尻次長	
3	木下総括参事	
4	岸本参事	
5	津田主査	
6	十川係員	
7	稲見係員	
8	藤田臨時雇用員	

8